

2024年度 町田市認知症施策実績報告

- No.1 町田市認知症施策推進協議会における協議
- No.2 認知症地域支援推進員の育成
- No.3-1 認知症とともに生きるまちづくりの推進(普及啓発)
- No.3-2 認知症ケアパスの普及
- No.3-3 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ
- No.4 “D-カフェ” (町田市版認知症カフェ)
- No.5 “D-ブックス” (認知症の人にやさしいブックフェア)
- No.6-1 認知症サポーター養成講座
- No.6-2 町田市版チームオレンジ
- No.7 認知症等による行方不明高齢者探索サービス事業/探索事業
- No.8 認知症初期集中支援チーム事業
- No.9-1 認知症ケアに関わる研修会
- No.9-2 医療連携会議
- No.10 認知症電話相談
- No.11 医師によるもの忘れ相談
- No.12 臨床心理士等による介護者等相談
- No.13 視察・メディア掲載

～町田市認知症施策推進協議会における協議～

1. 目的

認知症高齢者及びその家族が住み慣れた地域で共に生活を送ることができるよう支援することを目的として、認知症施策の推進に関し関係者で協議するため、町田市認知症施策推進協議会を開催した。

2. 委員構成（2024 年度）

・学識経験者、認知症専門医療機関の代表、認知症疾患医療センターの代表、町田市医師会の代表、町田市歯科医師会の代表、町田市薬剤師会の代表、高齢者支援センターの職員、介護支援専門員、認知症高齢者グループホームの代表、認知症対応型通所介護事業所の代表、訪問看護ステーションの代表、認知症高齢者の支援に係る団体の代表、家族会の代表

3. 開催日時

第 23 回 2024 年 7 月 2 日（火曜日）18：30～20：00

第 24 回 2025 年 2 月 5 日（水曜日）18：30～20：00

4. 協議内容

- 第 23 回 （1）町田市の認知症施策について
（2）認知症施策を推進するための認知症の人及び家族等の意見聴取について

- 第 24 回 （1）2025 年度町田市の認知症施策の計画（案）について
（2）16 のまちだアイ・ステートメントの普及について
（3）認知症の人の家族等への支援について
（4）認知症施策推進計画の策定等を踏まえた町田市認知症施策推進協議会設置要綱の改正について

～認知症地域支援推進員の育成～

1. 認知症地域支援推進員とは

○市町村ごとに、地域包括支援センター、認知症疾患医療センター等に認知症地域支援推進員が配置され、地域の支援機関間の連携づくりや、「認知症ケアパス」の作成・活用の促進、認知症カフェを活用した取組の実施、社会参加活動促進等を通じた地域支援体制づくり、認知症の人やその家族から相談等への対応等を行う。

2. 町田市における認知症地域支援推進員の配置

○高齢者支援センター職員 47 名、町田市職員 1 名、鶴川サナトリウム病院職員 4 名、計 52 名

○認知症地域支援推進員新任者研修

新たに認知症地域支援推進員として配置された人（配置予定を含む）が認知症施策の方向性を理解し、各市区町村における認知症施策の推進役を着実に果たしていくため、知識・技術を習得する。今年度は 10 名が受講した。

○認知症地域支援推進員現任者研修

認知症地域支援推進員としての活動経験を有する人たちが全国から参集して新たな情報や知識を学び、他地域の推進員と情報交換を行いながら、それまでの活動を通じて得られた諸成果や直面している地域課題の解決策等の共有を深めることにより、認知症施策及び認知症の人にやさしい地域づくりをより効果的に推進していくための力量向上を図る。また、新任者のフォローや、認知症地域支援推進員同士のネットワークづくりを推進する。今年度は 1 名が受講した。

3. 町田市における認知症地域支援推進員の活動

○認知症地域支援推進員連絡会の開催

市では、認知症地域支援推進員の地域での活動を促進するため、各地域での取組の共有や、活動に関する相談・協議等を行う連絡会を開催している。

2024 年度は 6 回開催する。また、今年度は、連絡会をより認知症地域支援推進員の活動に資する内容とするため、各回の開催前に市と認知症地域支援推進員とで協議内容の検討を行った。

【開催日】 ①2024 年 4 月 23 日 ②2024 年 6 月 25 日 ③2024 年 8 月 27 日
④2024 年 10 月 22 日 ⑤2024 年 12 月 24 日 ⑥2025 年 2 月 25 日

～認知症とともに生きるまちづくりの推進～ (普及啓発)

1. 目的

広く市民を対象に、認知症とともに生きるまちのイメージを共有し、認知症当事者の声を発信・共有する。

2. 開催概要

- (1) イベント名 まちだDサミット
～認知症とともに生きるまちづくりの“いま、ここ”～
- (2) 日 時 2025年2月1日(土) 10:00～17:30
- (3) 場 所 桜美林大学東京ひなたやまキャンパス (町田市本町田 2600-4)
- (4) 対 象 町田市在住・在勤・在学の方
- (5) 内 容

午前の部

基調講演

「認知症とともにアクション」

認知症介護研究・研修東京センター 副センター長兼研究部長
永田 久美子 氏

午後の部

認知症の方によるクロストーク

3つの視点のトークセッション

- ・認知症である「私」の視点
- ・認知症の人の家族の視点
- ・「ともに生きるまち」の一員としての視点

映像コンテンツ

“町田で生きる私の暮らし”

体験ブース

- ・Dカフェ体験
- ・認知症VR体験
- ・高齢者疑似体験
- ・みまもりカルタ
- ・オレンジイノベーションプロジェクト

- (6) 申込方法 午前の部のみ事前申込制
期間：2024年11月20日(水)～2025年1月26日(月)
- (7) 定 員 午前の部のみ235名

3. 委託先

一般社団法人Dフレンズ町田



～認知症ケアパスの普及～

1. 目的

認知症の方をできるだけ早く発見し支援することで、認知症になっても自宅で暮らし続けられるように、認知症パンフレット「知って安心 認知症」を作成。

2. 内容

都内初の「認知症ケアパス※」を盛り込んだこのパンフレットは、認知症をわかりやすく説明し、認知症になったときに利用できるサービスを紹介。

※認知症ケアパスとは、認知症を発症したときから、生活機能障害の進行にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければいいのかを予め標準的に決めておくこと（2013年7月厚生労働省）。

3. 特徴

- ・自分の状態をチェックできる認知症の気づきチェックリストを掲載。
- ・認知症になった後の生活や利用できるサービスを、イラストやマンガを用いて、楽しく、わかりやすく紹介。



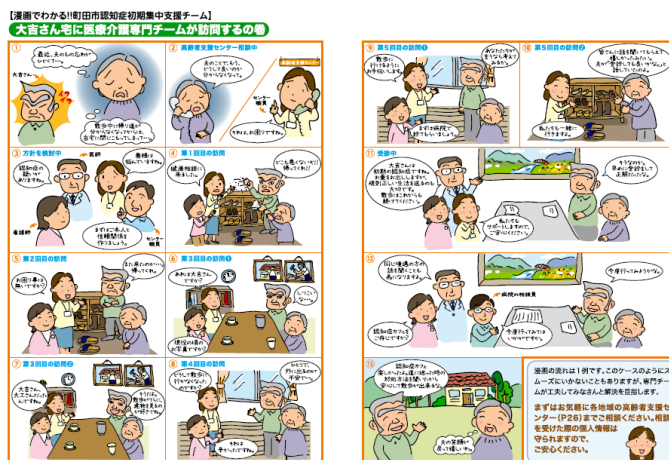
4. 配布場所

- ・高齢者支援センター
 - ・あんしん相談室
 - ・ふれあい館
 - ・市民センター
 - ・コミュニティセンター
 - ・市民フォーラム
 - ・市役所窓口
- (町田市ホームページでも閲覧可能)

5. 普及活動

- ・2025年1月に増刷。内容についても一部改訂。

【認知症ケアパス まちだ・ほほえみ街道】



【漫画でわかる!! 町田市認知症初期集中支援チーム】

～認知症とともに生きるまちづくりワークショップ～

1. 目的

行政と地域が一体となってまちづくりを推進するためのワークショップを実施。地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員、医療福祉関係含む民間企業、一般市民などが参加し、「認知症とともに生きるまち」の実現に向け話し合いを行う。

2. 開催概要

【テーマ①】認知症の人の社会参加の推進

- ・タイトル 認知症とともに生きるまちづくり
“やりたい” 思いをつなぐワークショップ
- ・日 時 2024 年 12 月 14 日（土）13:00～15:00
- ・場 所 市庁舎 3 階 3-2・3-3 会議室
- ・内 容 認知症当事者の「やりたい」ことを共有し、どのようにその思いを実現できるか、チームになって考える
- ・参加人数 33 名

【テーマ②】16 のまちだアイ・ステートメントの普及

- ・タイトル 認知症とともに生きるまちづくり
16 のまちだアイ・ステートメントを地域に広げるには？
- ・日 時 2024 年 10 月 26 日（土）15:00～17:00
- ・場 所 市庁舎 10 階 10-2～10-5 会議室
- ・内 容 アイ・ステートメント作成の経緯、町田市内における認知症に関わる活動について説明したのち、アイ・ステートメントを地域に広げる方法についてアイデアを出し合う
- ・参加人数 40 名

3. 委託先

一般社団法人 D フレンズ町田

～ “Dカフェ”（町田市版認知症カフェ）～

1. 町田市版認知症カフェの目的

認知症診断直後の空白の期間の解消を“Dカフェ（町田市版認知症カフェ）”の目的とし、介護サービスが必ずしも必要な状態ではない初期の当事者、その家族と地域のつながりの場。初期の当事者は、まだ介護が必要な状態ではなく、本人が求めるサポートが十分に受けられない場合も多い。そのため、“Dカフェ”がその役割を担い、当事者自身が実現したいことを、当事者同士で意見を出しあい実行していく場とする。

2. 活動内容・実績

(1) 市主催のDカフェ

①出張型Dカフェ

- ・場 所 市内スターバックス店舗（各店舗月1回）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により2020年度に一旦中止するも、5類移行に伴い、現在4店舗で再開

- ・コンセプト 「“特別な場所” から “日常の場所” へ」

認知症の人やその家族の方がより行きやすく、社会との継続した繋がりを持ってもらうとともに、普段認知症に対して関わりのない地域住民が、認知症を知り、関心を持つきっかけとなっている。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4店舗	4店舗	4店舗	4店舗	4店舗	4店舗	4店舗	4店舗	4店舗			
47人	47人	50人	50人	67人	57人	51人	44人	53人			
8人	5人	5人	4人	3人	5人	1人	4人	3人			

※上段：参加者数（4店舗合計）、下段：当事者参加者数（4店舗合計）

▼参考/2024年度に開催したスターバックスコーヒー店舗

ぽっぽ町田店/ 町田パリオ店/南町田グランベリーパーク店/多摩境店

②オンラインDカフェ

- ・方 法 オンライン会議システム（Zoom）（月1回）

※スターバックスコーヒーでのDカフェの代替として開始し、現在も継続

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15人	13人	13人	9人	8人	13人	15人	11人	4人			
4人	4人	4人	1人	2人	3人	0人	5人	0人			

※上段：参加者数、下段：当事者参加者数

①②あわせて、開催数36回、参加者527人、うち当事者61人であった。（2024年12月末時点）

(2) 地域団体等主催のDカフェ

- ・開催ヶ所数 26ヶ所（2025年1月更新）

～ “D-books”（認知症の人にやさしいブックフェア）～

1. 目的

認知症の診断を受けた当事者やご家族が認知症について調べる際に情報源となる図書館や民間書店等における認知症理解促進、認知症施策周知等

2. 内容

市内図書館、民間書店等で認知症に関連した書籍の特設コーナーを設置

3. 実施

【常設】

書店	その他
くまざわ書店 町田根岸アメリカ店	桜美林ガーデンヒルズ
久美堂本店	鶴川サナトリウム病院
TSUTAYA 町田木曽店	鶴川駅前図書館
久美堂書店 四丁目店	きらきらオレンジ三輪緑山
久美堂書店 玉川学園店	みんなの居場所陽だまりカフェ
小島書店 すずかけ台店	小山あんしん相談室
啓文堂書店 鶴川店	木曽あんしん相談室
	原町田あんしん相談室
	本町田あんしん相談室
	南大谷あんしん相談室

※2024 年 4 月時点

【企画】

- ・ 2024/9/13～10/9 堺図書館



～認知症サポーター養成講座～



1 内容

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を地域で温かく見守る「認知症サポーター」になるための講座。2007 年度から実施し、2024 年度までに累計 40,365 名（12 月 31 日現在）の認知症サポーターを養成した。今後も長期的な視点でサポーター養成を継続していく。



2 今年度の実績

2024 年度は 1,447 名（12 月 31 日現在） を養成いたしました。



3 認知症サポーターステップアップ講座

町田市では、2010 年度から認知症サポーターが認知症について更なる理解を深めるための認知症サポーターステップアップ講座を開催している。2020 年度からは、より認知症当事者の方と直接コミュニケーションをとる時間を多く設けた講座内容に変更した。また、2024 年度から、全域だけでなく、地域でも開催できるよう、実施委託先に高齢者支援センター（地域型）を追加した。

2024 年度は 12 月末時点で全域型および地域型あわせて 6 回実施し、125 名が受講した。累計の受講者数は 1,409 名 となった。

～町田市版チームオレンジ～

1. 概要

認知症当事者のニーズを把握するとともに、ニーズに応じた地域活動に取り組む団体等と認知症サポーターやキャラバン・メイト等（以下、「サポーター等」という）とのつながりを構築し、情報提供や情報共有を円滑にすることで、サポーター等が地域で自分にできることを見つけ、その目的を果たせるようにするための仕組みと体制。

2. チームオレンジの構築に向けた取組

(1) キャラバン・メイト連絡会

認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトを対象とした情報共有・交流会の場（キャラバン・メイト連絡会）を開催し、講座のレベルアップやキャラバン・メイト同士の繋がりづくりを行う。

【開催概要】

- ・日 時 2025 年 2 月 10 日（月）18：00～20：00
- ・場 所 市庁舎 3 階 3-2・3-3 会議室
- ・内 容 16 のまちだアイ・ステートメント勉強会
①作成ワークショップに参加した方によるパネルディスカッション
②個人ワーク ③グループワーク
- ・定 員 40 名

※キャラバン・メイト向け認知症サポーター養成講座見学会の実施

他メイトが実施する講座を見学することで、キャラバン・メイトの講座レベルアップを図る。2024 年度は、のべ 14 名のキャラバン・メイトが参加した（2024 年 12 月末時点）。

(2) 認知症サポーター交流会

認知症サポーター同士がコミュニケーションを図り、情報交換や交流を図ることで、認知症の方の支援に関する知識を深め、自分にできることを発見するきっかけづくりとなること、また、認知症サポーターが行政や地域での認知症に関する取り組みについて情報収集できることを目的に開催する。

①全域型認知症サポーター交流会

- ・日 時 2024 年 11 月 11 日（月）14:00～16:00
- ・場 所 健康福祉会館 4 階 講習室
- ・内 容 認知症サポーターが参加できる地域活動等の紹介
参加者同士のグループ交流
- ・参加者数 21 名（うち発表団体 8 名）

②地域型認知症サポーター交流会（随時開催）

地域	日時	参加者数	内容
忠 1	5 月 27 日	8 名	意見交換・参加者交流（自分が認知症になったら、もっと知りたい・学びたいこと）
鶴 1	10 月 4 日	15 名	近隣の認知症カフェの紹介、交流・情報交換
堺 2	11 月 12 日	8 名	活動について感じていること・課題について意見交換
町田圏域	11 月 25 日	16 名	サポーターから「気づき」についての発表、グループワーク

(2024 年 12 月末時点)

(3) 認知症サポーターの登録

認知症サポーターに、地域での活動を促すため、認知症サポーターからメールアドレス等を市に提供いただき、町田市、高齢者支援センターから認知症に関連する地域活動や研修会、交流会等の情報を発信する。

- ・登録者数 787 人 (2024 年 12 月末時点)
- ・情報提供回数 28 回 (2024 年 12 月末時点)

～認知症等による行方不明高齢者探索サービス事業/搜索事業～

1. 認知症等による行方不明高齢者探索サービス事業

(1) 目的

認知症などのある方が行方不明になった場合に、GPS（全地球測位システム）による位置情報端末機器を活用し、現在位置を知らせることで、高齢者の安全を確保し、家族等の精神的・経済的負担の軽減を図る。

(2) 対象者

市内に住所を有するおおむね65歳以上の在宅生活者で、
認知症等の症状のある方

※入院中や介護保険施設等入所の方及び心臓ペースメーカー等
医療用電気機器の使用者は対象外。

(3) 費用

月額440円

※生活保護世帯は無料、電話通話料等は利用者負担。



(4) 利用実績

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度 (12 月末時点)
利用者数	77	86	104	106	105	114	119
総探索数	3,942	12,885	11,061	12,792	14,735	7,902	4,142

2. 認知症等による行方不明高齢者搜索事業

(1) 目的

町田市に在住の高齢者が認知症等の症状により行方不明になった場合、ご家族からの依頼を受け、関係機関へのFAX・メール・LINE送信、防災無線放送、FMラジオ放送などで情報提供依頼を行い、行方不明者の迅速な発見に繋げる。

(2) 利用実績

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度 (12 月末時点)
発生件数	36	29	20	21	28	18	15
発見数	36	29	20	19	26	18	15

～認知症初期集中支援チーム事業～

町田市では、早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療・介護等が受けられる初期の対応体制を構築するため、「町田市認知症初期集中支援チーム」を4チーム設置しました。2015年4月から、市内全域を対象に活動を行っています。

■目的

認知症（疑い含む）の高齢者や家族を対象に、認知症初期集中支援チーム（医師、看護師等の専門職からなる）が定期的に家庭訪問（原則6ヶ月間）し、集中的に支援を行うことにより、認知症の行動・心理症状が安定し、住み慣れた地域での生活を継続していくことを目指します。

■チーム員

医療機関…医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士 等

高齢者支援センター…主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師 等

事務局…町田市いきいき生活部高齢者支援課 医療・介護連携/認知症施策担当

■担当圏域

町田市を4つの圏域に分け、下図のとおり圏域ごとに医療機関と高齢者支援センターが担当しています。



鶴川圏域

鶴川第1高齢者支援センター
鶴川第2高齢者支援センター
鶴川サナトリウム病院

町田圏域

町田第1高齢者支援センター
町田第2高齢者支援センター
町田第3高齢者支援センター
鶴川サナトリウム病院

南圏域

南第1高齢者支援センター
南第2高齢者支援センター
南第3高齢者支援センター
鶴が丘ガーデンホスピタル

堺・忠生圏域

堺第1高齢者支援センター
堺第2高齢者支援センター
忠生第1高齢者支援センター
忠生第2高齢者支援センター
あさひの丘メンタルクリニック

■訪問実績(2024年11月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	計
鶴川	4	1	0	3	0	0	0	0					8	19
町田	0	0	0	1	2	1	2	1					7	
堺忠生	0	0	1	1	0	1	1	0					4	
南	0	0	0	0	0	0	0	0					0	

2024年度 認知症初期集中支援チーム チーム員会議件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	計
鶴川	1	0	1	0	1	0	1	0					4	11
町田	0	0	0	1	0	1	0	1					3	
堺忠生	1	0	1	0	1	0	1	0					4	
南	0	0	0	0	0	0	0	0					0	

～認知症ケアに関わる研修会～

1. 認知症地域支援推進員研修会について

認知症地域支援推進員等を対象にして、認知症の正しい理解と認知症の総合的なアセスメント技術の向上を図ることを目的に研修会を開催しました。

- 1 開催日時：2024年11月6日 14:00～15:30
- 2 主催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）
- 3 講師：日本医療政策機構 栗田駿一郎 氏
- 4 参加者：認知症地域支援推進員等 25名
- 5 研修内容：認知症基本法の立法過程や認知症施策推進基本計画(案)の概要について、講演を聞き、認知症基本法に込められた理念やその意義について理解を深めました。また、後半ではグループワークを行い、町田市の認知症に関する取組を振り返りつつ、認知症地域支援推進員としてこれからどんなことに取り組みたいかについて検討しました。

2. 認知症ライフサポート研修

医療職と介護職等が相互の役割、機能を理解しながら、認知症ケアにおける多職種協働の重要性等を習得する研修会を開催しました。

- 1 開催日時：2024年12月21日 14:00～17:00
- 2 主催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）
- 3 進行役：認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院） 医療相談室
村山 秀人 氏
- 4 参加者：薬剤師、看護師等、認知症ケアに関わる医療・介護の専門職の方々、認知症サポーター等地域で認知症の人の支援に関わる方々 等 17名。
- 5 研修内容：地域で認知症の人に関わる様々な専門職が、ケアを提供する上で目的・目標を共有し、その人に対して、医療・介護を含む統合的な生活支援を行っていくための課題、プロセス、解決策等について5グループに分かれてディスカッションを行いました。専門職間における相互の理解や、認知症の人を多職種が協力して支える視点の重要性について学びました。



～医療連携会議～

初期集中支援チームを委託している医療機関を参集し、初期集中支援チームの課題等についての検討を行うことで、認知症の方の早期発見・早期治療を実現するための仕組みづくりを行うことを目的に会議を行いました。

1. 第1回 医療連携会議

- 1 開催日時：2024年7月26日 18:30～20:00
- 2 主催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）
- 3 参加者：初期集中支援チーム員である医療機関 14名
- 4 内容：認知症初期集中支援チーム事業をすすめていくなかで、「認知症の方の意思決定支援」に取り組むために課題となっていること、またその解決方法について、チーム員に対し、事前アンケートを実施。その結果をもとに、チーム員の医療機関で、情報共有を行い、解決方法について意見交換を行いました。

2. 第2回 医療連携会議

- 1 開催日時：2025年2月14日 18:30～20:00
- 2 主催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）
- 3 参加者：初期集中支援チーム員である医療機関・高齢者支援センター
- 4 内容：2024年度第1回会議の結果を踏まえ、初期集中支援チーム事業の中で本人の意思決定支援を踏まえた支援を行うため、チーム員会議の進め方や手法、訪問記録の様式等について高齢者支援センターを含めたチーム員で検討を行います。（予定）

～認知症電話相談～

1. 事業概要

気軽に認知症の事を相談できる専門相談電話窓口を設置。
認知症に対する不安やその症状について専門の相談員が相談をお受けしている。
また必要に応じて関係機関との調整も行う。

- (1) 委託事業者 鶴川サナトリウム病院 (2016 年 4 月 1 日～)
(2) 窓口時間 月～金曜日 9:00～17:00
土 9:00～12:00
(祝日・年末年始を除く)
(3) 設置場所 鶴川サナトリウム病院内

2. 相談実績

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 (12 月末時点)
相談 件数	204 件	161 件	165 件	232 件	173 件	254 件	317 件	232 件	183 件

認知症について相談したい

認知症についてのご相談をお電話で承ります

認知症電話相談窓口

【内 容】

認知症には早期診断・早期治療が必要です。町田市では身近に認知症のことを電話で相談できる専門相談窓口を設置しています。

認知症へのご不安、症状について、病院の選び方、必要なサービス等、ご本人やご家族、関係者の方を対象に専門の相談員が必要な情報提供や、関係機関との調整をします。

お気軽にご相談ください。



時間：月～金曜日 9時～17時 (祝日・年末年始を除く)
土曜日 9時～12時

認知症電話相談窓口専用直通電話 0120 (115) 513

※2016年4月1日から、認知症の電話相談は、東京都の指定を受けている認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）へ移行します。

～医師によるもの忘れ相談～

もの忘れが出てきて、認知症について気になってきたが、病院に行くまでではないと感じている方、または病院に行くことを考えているが、その前に少し認知症について相談しておきたい方などを対象に、各高齢者支援センターで、毎月 1 回、医師によるもの忘れ相談を実施。

1. 目的

- (1) 認知症の疑いがある高齢者を速やかに医療機関に繋ぎ、定期的な受診を促す。
- (2) 認知症の疑いがある高齢者の早期対応・支援等を行う。

2. 対象者

専門医療機関に繋がっていない認知症の疑いがある高齢者（市内に住所がある 65 歳以上の者）。

3. 内容

電話、来所面接、訪問等の方法を取り、認知症についての知識や情報の提供、専門医療機関受診の案内、介護の仕方及び行動・心理症状への対応、その他認知症全般にわたる指導・助言を行うとともに、必要に応じて関係機関への連絡を行う。

4. 各高齢者支援センターの担当医師、及び医師相談開催日時

高齢者支援センター	担当医師（敬称略）	開催日時
堺第 1	多田 利光（よしの病院）	毎月第 3 水曜日 14：00～16：00
堺第 2	島本 昌和（花いかだ診療クリニック）	毎月第 4 水曜日 10：00～12：00
忠生第 1	島本 昌和（花いかだ心療クリニック）	毎月第 1 木曜日 13：30～15：30
忠生第 2	島本 昌和（花いかだ心療クリニック）	毎月第 3 木曜日 13：30～15：30
鶴川第 1	武井 隆多（鶴川サナトリウム病院）	毎月第 3 木曜日 14：00～16：00
鶴川第 2	武井 隆多（鶴川サナトリウム病院）	毎月第 1 木曜日 14：00～16：00
町田第 1	田中 真野（鶴川サナトリウム病院）	毎月第 2 木曜日 14：00～16：00
町田第 2	鹿島 直之（町田まごころクリニック）	毎月第 1 木曜日 10：00～12：00
町田第 3	鹿島 直之（町田まごころクリニック）	毎月第 3 木曜日 10：00～12：00
南第 1	井上 昌彦（いのうえ内科クリニック）	毎月第 3 土曜日 15：00～17：00
南第 2	武井 隆多（鶴川サナトリウム病院）	毎月第 2 木曜日 14：00～16：00
南第 3	西嶋 公子（西嶋医院）	毎月第 2 金曜日 14：00～16：00

5. 2024 年度相談実績(11 月末時点)

相談件数：96 件

紹介状発行数：45 通

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
相談件数	8	15	14	9	9	14	12	15	0	0	0	0	96
紹介状作成数	4	7	7	5	5	7	3	7	0	0	0	0	45

～臨床心理士等による介護者等相談～

各高齢者支援センターで、毎月1回、臨床心理士等（こころの専門家）による介護者等相談を実施。高齢者の方を在宅介護している家族介護者については、認知症に対する病気の理解と本人への接し方および介護に対する心身のストレス軽減方法等について相談できる。また、認知症高齢者ご自身については、認知症に対しての不安や悩み等を相談できる。

1. 目的

- (1) 家族介護者が、認知症に対する理解とご本人に対する接し方や、それらに対するスキルを身につけ介護力の向上を図る。
- (2) 家族介護者が、心理的・身体的な介護負担に対しての軽減方法を学ぶ。
- (3) 家族介護者が、介護を支援してくれる様々な社会資源を把握する。
- (4) 家族会等の存在を家族介護者にむけて周知し、入会を勧め介護による孤立感を軽減する。
- (5) 受診に繋がらない認知症の方は、専門医療機関の定期受診に繋がるような助言等を行う。
- (6) 認知症の方に対し、今後の生活等についてのアドバイスを行い、不安感を低減させる。

2. 対象者

認知症高齢者本人、およびその家族介護者など

3. 内容

- (1) 認知症の方（認知症の疑いがある者を含む）を介護する家族介護者等を対象に、認知症に対する理解と介護負担に対する軽減および介護方法のスキル向上等についてのアドバイスを行う。必要に応じ、家族会等の紹介を行う。
- (2) 認知症の方（認知症の疑いがある者を含む）に対し、その不安定な精神面を受け止め、認知症に対する不安感の軽減や受診の重要性等を認知症の方本人と家族介護者に伝えていく。

4. 各高齢者支援センターの担当心理士等及び相談開催日時

支援センター	担当心理士（敬称略）	開催日時
堺第1	宮田 洋輝（こころのホスピタル町田）	毎月第3木曜日 13：30～15：30
堺第2	藤原 啓（こころのホスピタル町田）	毎月第2月曜日 10：00～12：00
忠生第1	藤原 麻里子（こころのホスピタル町田）	毎月第2火曜日 14：00～16：00
忠生第2	小野寺 文（こころのホスピタル町田）	毎月第4火曜日 13：30～15：30
鶴川第1	亀吉 千尋（鶴川サナトリウム病院）	毎月第1土曜日 10：00～12：00
鶴川第2	松田 千広（鶴川サナトリウム病院）	毎月第3土曜日 10：00～12：00
町田第1	猪野 貴美子（鶴川サナトリウム病院）	毎月第2土曜日 10：00～12：00
町田第2	宮野 洋子（町田まごころクリニック）	毎月第1金曜日 10：00～12：00
町田第3	田所 正典（聖マリアンナ医科大学病院）	毎月第2木曜日 14：00～16：00
南第1	田所 正典（聖マリアンナ医科大学病院）	毎月第3日曜日 14：00～16：00
南第2	稲垣 和馬（鶴川サナトリウム病院）	毎月第4土曜日 10：00～12：00
南第3	宮野 洋子（町田まごころクリニック）	毎月第3金曜日 10：00～12：00

5. 2024年度相談実績（11月末時点）

相談件数：81件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	13	14	11	8	8	9	9	9	0	0	0	0	81

～視察・メディア掲載～

町田市の認知症施策について、2024 年度は以下のとおり、視察・メディア取材を受けました。

1. 視察

実施日	自治体等	実施内容
2024 年 7 月 23 日	多摩市	町田市の認知症施策、D カフェについて
2024 年 11 月 21 日	草加市（行政職員）	（1）住民主体の通いの場について （2）認知症施策について

2. メディア掲載

掲載日	掲載先	内容
2024 年 10 月 10 日	夕刊フジ（The 情報源）	認知症カフェ
2024 年 11 月 11 日	シルバー産業新聞	「認知症とともに生きるまち」めざして